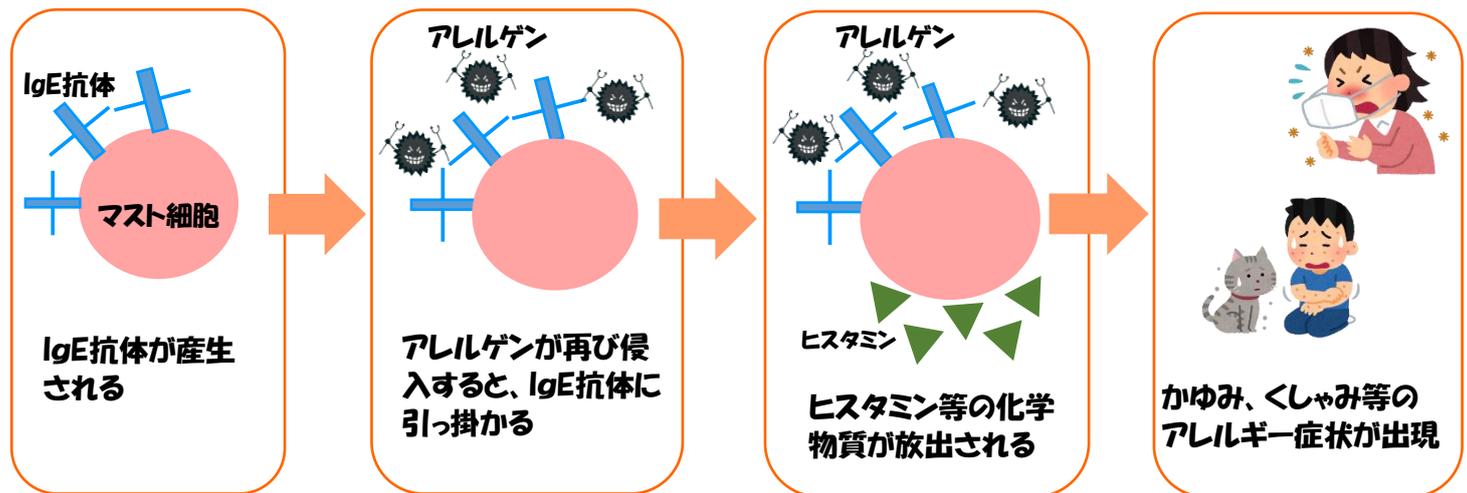


～アレルギーを知ろう！～

私たちの体には、自分の体の成分と違うもの、例えば細菌、ウイルス、食物、ダニ、花粉などが入ると、異物と認識して攻撃し、排除する仕組みがあります。これを「免疫」と呼びます。アレルギーも、免疫反応の一部であり、異物に対して反応する際に、自分の体を傷つけてしまう場合を「アレルギー反応」と呼びます。今回は、アレルギーの仕組みや検査方法、注意すべき症状についてお伝えしていきます。

アレルギー反応の仕組み

アレルギーの原因となる物質を「アレルゲン」と呼んでいます。アレルゲンが体内に入ると、これを攻撃するために「IgE抗体」というたんぱく質が作り出されます。「IgE抗体」は、皮膚や粘膜の「マスト細胞」の表面にアンテナのようにくっつきます。そして再びアレルゲンが体内に入ると、「IgE抗体」のアンテナに引っ掛かり、「マスト細胞」の中にある「ヒスタミン」等の化学物質が放出されて、かゆみ等の症状があらわれます。



日本アレルギー学会HPより一部抜粋

自分のアレルギーを知ろう！

アレルゲンになる物質は多岐にわたり、反応するアレルゲンは人それぞれです。自分のアレルゲンを、血液検査で調べることができます。「アレルギー体質だが、具体的な原因はわからない」「アレルギー症状が出るようになった」と感じている方にオススメです。自分自身のアレルゲンを調べ、アレルゲンを特定することで、アレルゲンを回避し、アレルギー症状の出現を予防することができます。

<アレルギー検査(MAST36)>

当センター
で実施



食物系アレルゲン

- ・トマト
- ・モモ
- ・キウイ
- ・バナナ
- ・ゴマ
- ・そば
- ・小麦
- ・ピーナッツ
- ・大豆
- ・米
- ・マグロ
- ・鮭
- ・エビ
- ・カニ
- ・ミルク
- ・豚肉
- ・牛肉
- ・鶏肉
- ・オボムコイド
- ・卵白（非加熱）

花粉系アレルゲン

- ・オオアワガエリ
- ・カモガヤ
- ・ブタクサ混合物
- ・ヨモギ
- ・スギ
- ・ヒノキ
- ・シラカンバ



環境系アレルゲン

- ・コナヒヨウダニ
- ・ハウスダスト
- ・ネコ皮質
- ・イヌ皮質

その他アレルゲン

- ・カンジダ（カビ系）
- ・アルテルナリア（カビ系）
- ・アスペルギルス（カビ系）
- ・ラテックス（ゴム手袋等）

※現在、200種類以上のアレルゲンに対する検査が可能ですが、当健診センターでは代表的な36種類のアレルゲンを、生活習慣病予防健診のオプション検査として調べることができます。

命にかかわるアナフィラキシーとは？

アナフィラキシーは、発症後極めて短い時間に全身性のアレルギー症状が出る反応です。その中でも、生命を脅かす危険な状態になることを「アナフィラキシーショック」といいます。以下の3つのうち、いずれかに当てはまる場合はアナフィラキシーの可能性が高いとされます。

【アナフィラキシーを疑う症状】

①急速(数分～数時間以内)に、発赤等の皮膚症状、または粘膜症状のいずれかがあらわれ、さらに、息苦しさ等の呼吸器症状、あるいは血圧低下等の循環器症状がある。



皮膚症状

(じんましん、発赤、かゆみ等)

または



粘膜症状

(唇や舌、まぶた等が腫れる)



呼吸器症状

(息苦しさ、息切れ等)

または



循環器症状

(血圧低下、意識障害)

②アレルギーが体内に入った後、数時間以内に発赤等の皮膚症状、息苦しさ等の呼吸器症状、腹痛嘔吐等の消化器症状、血圧低下などの循環器症状のうち、2つ以上がある。



皮膚症状

(じんましん、発赤、かゆみ等)



呼吸器症状

(息苦しさ、息切れ等)



消化器症状

(強い腹痛、嘔吐等)



循環器症状

(血圧低下、意識障害)

③アレルギーが体内に入った後、急速(数分～数時間以内)に血圧低下がみられる



一般社団法人 日本アレルギー学会 アナフィラキシーガイドラインより引用

※アナフィラキシー症状が出るまでの時間は、アレルギーによっても異なります。薬物や昆虫による毒は、直接体内に入るため早く症状が出ますが、食物は胃や腸で消化吸収されるまで時間がかかるため、薬物等より症状の出現に時間がかかることが多いです。

アナフィラキシーへの対応

速やかに医療機関へ！！

アナフィラキシーの症状は、数分から数時間以内に急速に進むため、一刻も早く治療することが必要です。治療は医療機関でないと対応できないため、アナフィラキシー症状がみられた場合、速やかに医療機関を受診することが重要です。

アレルギーを回避する

アナフィラキシーの原因は、食物が最も多く、次いで蜂などの昆虫、薬物となっています。特に食物でのアナフィラキシーは、牛乳や小麦、鶏卵など乳幼児で多く見られます。アレルギーを持っている方は、アレルギーを明らかにして、アナフィラキシーを発症しないよう、回避することが重要です。

公益財団法人 宇都宮市医療保健事業団 健診センター
〒321-0974 宇都宮市竹林町968 TEL(028)625-2213 FAX(028-625-2215)

あなたとあなたの大切な人のために年に1度、健康診断を受けましょう！